

グリホサートイソプロピルアミン塩・ピラフルフェンエチル水和剤 サンダーボルト 007	取扱メーカー： クミカ [*] 、日農 原体メーカー： 三井アグロ、日農
成分： グリホサートイソプロピルアミン塩〔アミノ酸系〕…30.0% ピラフルフェンエチル〔フェニルピラゾール系〕…0.16% その他 PRTR 該当成分： ポリ(オキシエチレン)= アルキルエーテル〔PRTR・1種〕…5.6%	性状： 類白色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- 接触速効型と長期抑草型を組み合わせた、速効力と持続力を併せ持つ、非選択性茎葉処理除草剤である。
- 雑草生育期の茎葉散布で一年生雑草から多年生雑草まで幅広く枯らす。特に、スベリヒユ、マルバツユクサ、ヤエムグラ、アサガオ、タンポポ、コヒルガオ、ギシギシ、ハマズメ、などにより高い効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 容器をよく振ってから使用する。
- 散布器具、容器は除草剤専用のものを用いる。
- グリホサートを含む混合剤であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
- 多年生雑草を地上部及び地下部まで含めて枯殺するには、雑草の生育盛期から生育終期又は開花期前までに散布する。
- 土壌が流亡したり、くずれたりするおそれのある所では使用しない。
- 多年生雑草及びツユクサ科雑草を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する。
- スギナ防除に際しては、スギナの生育期を過ぎた時期での散布及びスギナが他雑草の中に埋没しているような条件では効果が劣ることがあるので、適期にスギナにかかるように注意して散布する。また、スギナの再生を長期間抑制したい場合には、薬量を3000～4000ml/10aに設定することが望ましい。

【薬効・薬害等の注意】

- 激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
- 適用外作物（農作物、有用植物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、特に下記のとくに注意する。
 - 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
 - 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 作物の出芽前に使用する場合は、作物の出芽後に散布すると薬害を生じるおそれがあるので、必ず出芽前に散布する。
- 生育期畦間散布に使用する場合には作物にかからないよう十分注意して散布する。

【安全対策上の注意】

- 共通注意事項6、街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意事項を参照。
- 魚類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器等は適切に処理する。



【適用と使用方法】

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	本剤の使用回数	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ピラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
果 樹 類 (かんきつ、 キウイフルーツ、 パイナップルを除く)	—	一年生及び 多年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	400 ～ 1000 ml	100 ℓ	雑草茎葉 散布	3 回 以内	3 回以内	3 回 以内
かんきつ							5 回以内		
だいこん		一年生雑草	耕起前又は は種 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	400 ～ 600 ml			1 回	2 回以内	1 回
キャベツ はくさい			耕起前又は 定植 7 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)				1 回		
ねぎ			定植後畦間処理 但し、収穫 30 日前まで (雑草生育期)				3 回 以内	3 回以内	
			定植又は定植 7 日前まで (雑草生育期)						
たまねぎ (秋播移植栽培)			定植後畦間処理 ：雑草生育期 但し、収穫 30 日前まで						
麦 類 (小麦を除く)			耕起 7 日前まで (雑草生育期)				1 回		2 回 以内
小麦			は種後出芽前 (雑草生育期)						
			耕起前 (雑草生育期)				500 ～ 1000 ml		
だいず		一年生雑草	畦間処理： 雑草生育期 (草丈 30 cm 以下) 但し、収穫前日まで は種後出芽前 (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)	400 ～ 600 ml			2 回 以内	4 回以内	4 回 以内
			耕起前又は は種 10 日前まで (雑草生育期： 草丈 30 cm 以下)						
			えだまめ						
水田作物 (水田刈跡)	水田 刈跡	一年生雑草	雑草生育期	500 ～ 2000 ml			1 回	3 回以内	1 回
	多年生雑草	1 回							
水田作物 (水稲を除く) 移植水稲 直播水稲	—	一年生雑草	耕起 20 ～ 10 日前 (雑草生育期)	400 ～ 600 ml				2 回以内	

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	本剤の使用回数	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ビラフルフェン・エチルを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び多年生雑草	収穫14日前まで (雑草生育期： 草丈30 cm以下)	400～ 600 ml	100 ℓ	雑草茎葉 散布	2回 以内	3回以内	2回 以内
水田作物、 畑作物 (休耕田)	休耕田		雑草生育期 (草丈50 cm以下)	500～ 1000 ml					
茶	—	一年生及び多年生雑草	摘採7日前まで (雑草生育期)	400～ 600 ml			1回	2回以内	2回 以内
牧草	牧野・草地	更新・造成 10日前まで (雑草生育期)	400～ 750 ml						
樹木等	公園、 庭園、 堤とう、 道路、 運動場、 宅地、 鉄道、 のり面 等	一年生及び多年生雑草	雑草生育期 (草丈50 cm以下)	500～ 1000 ml		植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に雑草 茎葉散布	3回 以内	3回以内	3回 以内
	スギナ	雑草生育期 (草丈30 cm以下)	1000～ 4000 ml						
きく	—	一年生雑草	耕起前又は 定植前まで (雑草生育期： 草丈50 cm以下)	400～ 600 ml		雑草茎葉 散布	2回 以内	2回以内	2回 以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	10 a 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	グリホサートを含む農薬の総使用回数	ビラフルフェンエチルを含む農薬の総使用回数
					薬量	希釈水量				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔	一年生及び多年生雑草	草丈抑制による刈込軽減	雑草生育期又は刈取後再生期 但し、収穫14日前まで	50～ 150 ml	100 ℓ	2回 以内	雑草茎葉 散布	3回以内	2回以内